

リアルタイム事務事業評価調書①【会議資料】

令和 7 年 9 月 24 日 作成

事業名	「こまったときの救急ハウス」											
担当部署	部	教育部	課	青少年課	係	青少年育成係						
基本施策	1 子どもたちの笑顔があふれるまちづくり											
分野別施策	施策1	-	2	子どもたちの健全育成【重要施策】								
	-											
展開方向	<input type="checkbox"/>	子どもたちの健やかな成長と自立を支える環境づくり										
	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども・若者の豊かな心を育む環境づくり										
	<input type="checkbox"/>	0										
予算科目	会計	一般	款	10	項	4	目	1	事業番号	10		
事業名称	青少年問題協議会費							継続・新規	継続して実施している事業			

A)事業目的・概要

事業の目的	①	通学途中において防犯上の非常事態等が発生した時に小・中学生の保護等を地域の方々にお願いするもの。
	②	
	③	
対象者	地域の方々	
主な取組み	①	目印となるポスターを、門や塀に掲示する。
	②	
	③	

B-1)過去の成果など ※事業の成果や結果を表す数値があれば記入してください。

実績・指標の説明		単位	令和4実績	令和5実績	令和6実績
①	新規登録件数	件	59	8	1
②					
③					
④					
⑤					

B-2)事業コスト(単位:千円)

	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
事業にかかった総経費	0	29	29	31

B-3)その他事業に関連する事項(当該業務に割いた職員の労働時間数、時間外勤務時間、市民からの意見・反応など)

【これまでの経緯】  
 子どもたちの防犯上の非常事態等が発生した時のため、平成9年に一部のPTA活動(七小、九小、五中)として始まり、平成15年にはPTA連合協議会としての取り組みとして広がった。平成20年度の組織改正の際、社会教育課から青少年課へ引き継がれた。

C)当該事業をどうしたいか(主管課の案・望む意向や方向性など)

	<input type="checkbox"/>	拡大	<input checked="" type="checkbox"/>	廃止	<input type="checkbox"/>	変更・見直し	<input type="checkbox"/>	その他
①								
②								
③								
④								
⑤								
上記の考えに至った理由・経緯・背景など								
または実施することでどのような効果が得られるか、将来的な展望 など								
①	「青少年問題協議会費」の中でポスターの印刷製本費を予算措置しているが、青少年問題協議会は令和7年度をもって廃止する方向であり、事業費もなくなる見込みである。							
②	令和6年度には、第七小学校と第九小学校の統廃合に向けて、九小保護者連絡会で看板60件程度を撤去した。PTAを解散した小学校もあり、配布撤去した件数の把握が困難になっている。							
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

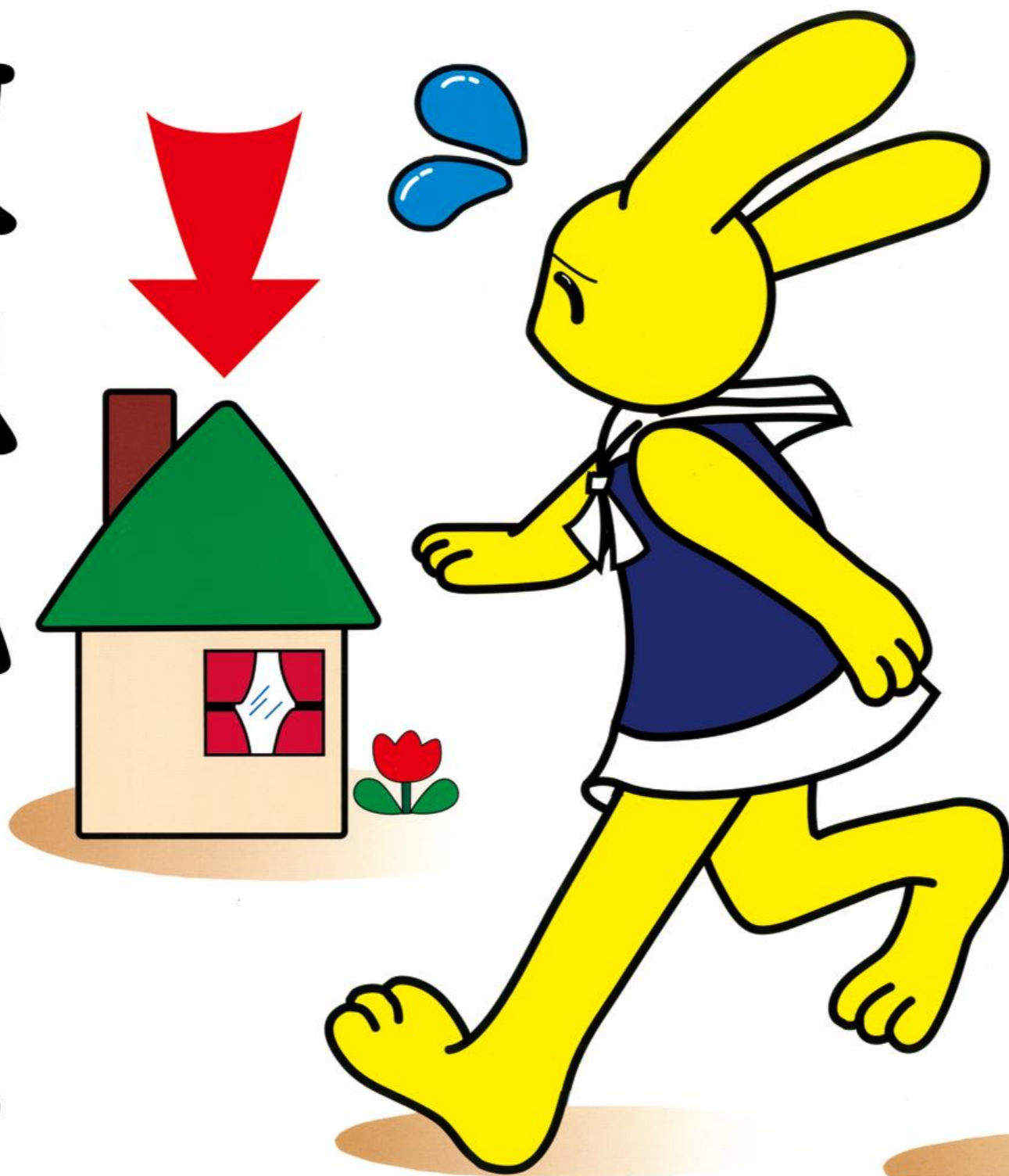
D)当該会議で聞きたいこと ※簡潔に記入してください。

①	青少年問題協議会が令和7年度をもって廃止予定であり、今後の事業のあり方や、より事業の相乗効果を生む主管部署について伺いたい。
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

E)評価会議での意見・助言等

①	「防犯」、「商工」部門への引継ぎを検討すること。
②	子どもへの利用方法の周知については、デザインを含め工夫をすること。
③	
④	
⑤	
⑥	

救急  
ハウス



こまった  
ときの

リアルタイム事務事業評価調書②【実績報告・取組予定】

令和 8 年 3 月 13 日 作成

事業名	「こまったときの救急ハウス」					
担当部署	部	教育部	課	青少年課	係	青少年育成係

A) 会議を踏まえて、今年度中に取り組むことや事務の方向性など

または会議後に対応したこと、参考としたことなど

①	防犯所管部署と調整したが、事務を引継ぐことは困難であるとの回答であった。
②	政策検討会議の意見も踏まえ、既設の維持管理は引き続き行うこととし、社会情勢の変化に伴う内容への展開を検討していく。
③	
④	
⑤	

B) R7年度の実績(事業の実績を示す数値又は事業の目標としたものの結果)

実績の説明	単位	目標値	R7実績値	【参考】R6実績値
① 新規の掲出は3件	件	なし	3	1
②				
③				
④				
⑤				
数値として出せる実績が得られなかった(下記にその理由と当初の目標と代替する目標あれば記載してください)				
理由及び代替する目標				
R7実績は過去と比べて	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 例年通り <input type="checkbox"/> 低下した <input type="checkbox"/> その他	左記とした理由 又は 分析等(向上・低下した要因等): 新規の掲出は年間数件あるかないかの状況である。		

C) 来年度以降の課題や見直すべき点

※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。

①	個人宅よりも商店の方が事業効果が高いため、掲出場所について検討する。
②	子どもへの利用方法の周知について検討する。
③	
④	
⑤	

D) 来年(令和8年度)の取組予定

※事務予定または改善事項を記入してください。

①	取組内容	課題となった掲出場所や子どもへの周知方法について検討する。 令和9年度当初予算編成の際に必要な経費(ポスター印刷費)を青少年対策事業費に新設する。
	取組終了時期	令和8年度中に検討する。

②	取組内容	
	取組終了時期	
③	取組内容	
	取組終了時期	

【予算への反映状況】

( 8 年 3 月 13 日 時点 )

予算科目	会計	一般	款	10	項	4	目	1	事業番号	10
事業名称	青少年問題協議会費									

予算額比較(R7-R8) (単位:円)

※会計年度任用職員に係る経費(報酬等)は記入不要です。

R7予算額(①)		R8予算額(②)		差額(②-①)	
事業費合計	31	事業費合計	0	事業費合計	-31
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
10 需用費	31		0		-31
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	31	一般	0	一般	-31
国		国		国	
都		都		都	
市債		市債		市債	
その他		その他		その他	

予算額比較に差額が生じたか(変更したか)

<input checked="" type="checkbox"/>	生じた/変更した	<input type="checkbox"/>	生じていない/変更していない
-------------------------------------	----------	--------------------------	----------------

上記の要因/理由

①	青少年問題協議会が令和7年度をもって廃止予定であり、事業費自体がなくなるため。
②	
③	
④	
⑤	